

全国からふるさと湖南省へ！

ふるさとときらめき湖南づくり寄付

(湖南省ふるさと納税)

—平成28年度の状況を公表します。—

応援ありがとうございます!!

平成28年度は、
件数:3,020件

金額:73,906,000円



の寄付をいただきました。

寄付金の使いみち

- 天然記念物ウツクシマツの保全 302万円
- 図書館の機能充実に係る事業 261万円
- 観光の振興に関する事業 382万円
- 歴史文化遺産の周辺環境整備に関する事業 375万円
- スポーツ施設利用環境の充実に係る事業 241万円
- 地域福祉施策の充実に係る事業 726万5千円
- 地域活性化に関する事業 5,103万1千円

固地域創生推進課(東庁舎) ☎71・2316 FAX72・2000

ふるさと納税とは

ふるさとを応援したい、ふるさとのために何か貢献したいという納税者の思いを実現する「ふるさと納税制度」。出身者に限らず、湖南省を「ふるさと」と思い、応援してくれる人なら誰でも寄付できます。また、確定申告などをすると、住んでいる市町村に納める住民税や所得税の控除が受けられます。

※平成29年度よりふるさと納税の趣旨により、市内在住の人には返礼品を控えています。

お礼の品として近江牛や市出身であるWBC世界バンダム級チャンピオン山中慎介選手のグッズなど85品用意しています。

帰省した家族、親戚、遠方で暮らす友人や縁のある人に情報提供をお願いします。



▲近江牛(ふるさと納税返礼品)

北朝鮮は、今年に入ってから7度ものミサイル発射実験を行っています。3月6日には4発の弾道ミサイルを同時に発射して秋田県沖のわが国の排他的経済水域内に着弾させました。先月も複数にわたって実施を強行しましたが、14日の実験では液体燃料で2千キロメートルの高さまで上昇させて迎撃を困難にしましたし、21日の実験では固体燃料でいつでもどこからでも発射できる能力を誇示しました。

4月29日の発射では東京メトロが全線停止して議論を呼びましたが、今そこにある危機が北朝鮮問題であるといえます。わが国は国際紛争を解決する手段としての戦争と武力行使を憲法で禁じています。しかし、相手方がある戦争はわが国の都合だけで防止できるものではありません。

北朝鮮危機では、そうした国



際関係の冷厳さをまざまざと見せつけられています。万が一の際に備えて、各自治体では「国民保護計画」を策定しています。

湖南省でも平成19年に策定しましたが、自然災害への対応とは態様が違い、着上陸侵襲、ゲリラや特殊部隊による攻撃、弾道ミサイル攻撃、航空攻撃という4つの武力攻撃事態を想定しています。

今回の事態は弾道ミサイル攻撃を想定することになります。が、ミサイル発射段階で攻撃目標を特定することは困難です。し、極めて短時間で着弾し、弾頭の種類に応じて被害の状況は大きく変わります。

核弾頭ではなく通常弾頭であれば被害は局限されますので、屋内避難と消火活動が基本的な対応となります。

防災無線やスマートフォンなどを通して警報サイレンが聞こえた場合は、できる限り頑丈な建物や物陰に速やかに避難し、破片の直撃から身を守る必要が重要となります。

外交で解決すべきところもありますので、過度に恐れる必要はありませんが、万一の国民保護事態にどう備えるのかについても、日頃から気をつけておいてください。